

議会レポート 21

住所：千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 発行：千代田区議会 自由民主党


千代田区特別支援給付金の申請はお早めに

申請受付期限**2月17日(水)**消印有効

給付金詐欺にご注意を 区の職員が銀行口座をお尋ねしたり、ATMの操作をお願いすることはありません

詳しくはこちら

お問い合わせ 給付金コールセンター
03-5211-4300 (平日8時30分~17時)




代表質問
石川区政で3度目の決算不認定
今後の区政運営
教育長の不在
人口増に伴う避難所対策
保健所の機能拡充
GIGAスクール構想



一般質問
情報セキュリティについて
(AI技術と中国の脅威)

千代田区議会
令和二年
第四回定例会

一般質問
コロナ禍での区民税や公課の滞納整理と年末特別資金等について!!



一般質問
「吸う方と吸わない方の共生」
屋内喫煙所設置助成制度、
助成率と助成限度額の見直しについて



代表質問
一般質問



一般質問
コロナ禍での防災対策
地域交通施策について



皆様のご意見をお聞かせください。
千代田区九段南1-2-1
千代田区役所7階
電話 5211-4320
FAX 5275-6882
千代田区議会自由民主党

コロナ禍での区民税や公課の滞納整理と年末特別資金等について !!

問：債権管理・滞納整理の実態とコンビニや携帯電話で納付するモバイルバンキングの利用状況。

答弁：「納税案内センター」の電話催告、滞納整理支援システムと区税調査員の活用。7月から再開した弁護士多重債務相談の利用者は無し、コンビニ納付が24,412件、モバイルレジサービス納付は727件。

問：各担当課の徴収をまとめる一括徴収の方向性、研修状況の実態、「徴収事務マニュアル」の必要性について

答弁：一括徴収は全庁的な課題。研修は東京都主税局、東京税務協会、特別区研修所等を活用。マニュアルは東京都主税局の「滞納整理事務の手引き」を活用。

問：スマート自治体に向けての滞納整理の標準化また、隣接自治体や東京都との「税務の共同化」について

答弁：総合住民サービスシステムのリプレースの中で標準化の整理を行う。税務の共同化は困難案件について東京都に徴収権を引き継ぐなど、指導・アドバイスを通じて連携を行っている。

問：年末特別資金等の融資利用条件の緩和について

答弁：コロナ禍における「緊急経営支援特別資金」「小規模企業支援特別資金」を創設した。相談室で現況を伺い、融資メニューを提案していく。



一般質問（要旨）

河合良郎

所属委員会

地域文教委員会

景観・まちづくり特別委員会

災害時要配慮者等対策特別委員会

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

コロナ禍での防災対策

問：新たな生活様式となり、オンライン会議の実施など防災意識を低下させない対策を。今年度全て中止となった避難所防災訓練のあり方について、地域や学生ボランティアとの連携、職員への負担軽減策などは。

答弁：避難所における感染対策等の勉強会を行うなど、地域ごとに工夫して取り組んでいる。来年度は密にならないよう広い会議の設定や人数制限を施すなど、十分な感染対策の上、訓練を実施する予定。現在のコロナ禍で、学生をはじめ就業者のボランティアなどもリモートワークなどにより区内に滞在していないこともある。発災時の初動対応について、今後の避難所運営協議会等で確認し共有できるよう努めていく。区の職員は発災時、災害対応が本来業務となるので、防災に係る訓練や研修を通じて役割等を明確にし、災害対応に不安や負担を感じることがないように意識醸成などに取り組んでいる。

地域交通施策について

問：「風ぐるま」の愛称として親しまれている福祉交通バスに対する区民の要望は福祉目的を超えたコミュニティバス的な利用に広がっている。福祉バスの機能をさらに拡充させコミュニティバスの機能も兼ね備えた総合的な交通バスの必要性を多角的に議論する時期ではないか。保健福祉部を中心として全庁的な検討を求める。

答弁：現在の風ぐるまに対する要望、すなわち課題を解決することで、コミュニティバス的な利用が可能になると考えられる。今年度、調査・検討を進めている。



一般質問（要旨）

池田ともり

所属委員会

地域文教委員会

災害時要配慮者等対策特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>



一般質問（要旨）

永田 壮一

所属委員会

地域文教委員会

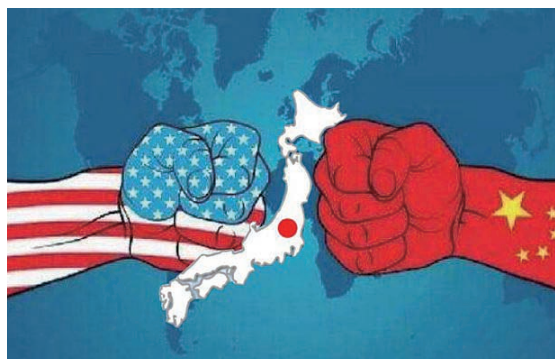
オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

文化財保護・活用特別委員会

情報セキュリティについて （AI 技術と中国の脅威）

問：個人のネット検索、買い物情報は全て監視下にあり集積されたビッグデータは国家、企業に有料で提供されていることを常に念頭に置くべきだ。特に中国は5G基地局、監視カメラを世界中に設置し国内外の言論・情報統制を進めており、阻止しようとする米国との対立が深まっている。我が国も米に追随し、中国の生産拠点を国内に回帰させるためのサプライチェーン補助金（3000億円）を予算計上した。また、コミュニケーションアプリのLINE（韓国）、TikTok（中国）は個人情報を収集・分析しているので公的利用には向かない。危険な中国製通信デバイス、アプリは行政として導入するべきではない

答弁：通信機器関連の導入には厳しいセキュリティ査定を実施している。アプリは情報発信ツールとしてのみで双方向では使用していない。今後は、より高度なセキュリティを確保できる総合行政ネットワークの構築を進めていく。



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>



一般質問（要旨）

うがい友義

所属委員会

企画総務委員会

景観・まちづくり特別委員会

文化財保存・活用特別委員会

「吸う方と吸わない方との共生」 千代田区屋内喫煙所設置助成制度の見直し

問：適正配置、設置促進の為に、リスクを取って地域のために設置協力いただいている事業者の方々の為に、助成限度額と助成率の引き上げなど大胆な見直しが必要。

答弁：喫煙所設置は、令和6年度までに100か所を目標。今年度中に70か所前後になる見込み。現状課題は、脱臭機等の高機能化に伴いメンテナンス費用などの維持管理費用の支払いが事業者の負担になっていること、喫煙所の整備がなかなか進まない地区があり偏りがあることなどがあり、これらの課題に対応するため、喫煙所設置助成要綱の見直しを以下の通りに検討しているところです。

- ①維持管理費用の助成率の変更と助成限度額の引き上げ。
変更幅、引き上げ幅は検討中ですが、事業者の維持管理費用の負担が軽減されるよう、検討を進めております。
- ②建築物を新たに建てて喫煙所にする場合にも適用できるよう見直す。
例えば駐車場の空きスペース等にコンテナ型の喫煙所を設置する場合にも助成ができるようし、喫煙所の整備がなかなか進まない地区も含め、一層の喫煙所の設置促進を図っていく。
これらによってこれまで地域に大きく貢献されてきた事業者の皆様が、これからも安心して運営を継続できるようにするとともに、より一層の喫煙所の整備を進めてまいります。

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

石川区政で3度目の決算不認定

問：決算不認定に至った理由は、軽井沢少年自然の家や旧箱根千代田荘の活用方針、本庁舎PFI事業終了に伴う今後の管理運営、スポーツ振興計画改定に係る不正契約などでした。区は地方自治法の規定に基づき、議会の審判に対して責任ある対応を行い報告するのか。

答弁：不認定に至ったことは、重くうけとめる。軽井沢、箱根について再度、議論するので若干の時間をいただきたい。不正契約については、全庁を挙げて再発防止策と改善に取り組む。

今後の区政運営

問：任期中最後の定例会となる、出処進退も含め今後の区政をどのように進めるのか。

答弁：国難と言われる新型コロナウイルス対策に全力で取り組む。



教育長の不在

問：特別職である教育長の任命議案は区長の専管事項である。これまでは、区長と議会が事前に十分なすり合わせを行った上で、本会議の最終日に区長自ら議案を提案し賛否を問うていたが、10/15の定例会最終日になっても区長から議案が提出されず、教育長の任期は10/18までであり、区長が議案を提出しなかった結果、教育長不在という事態に陥ってしまった。地方教育行政の責任者がいないという異例の事態となっているが何故か。

答弁：教育長不在の事態が望ましい状態でないことは十分に認識している。誠に遺憾に感じているが、現在、慎重の上に慎重に思案を重ねているところである。

人口増に伴う避難所対策

問：コロナ禍での災害時、感染防止対策の観点から避難所の数やスペースを増やす必要があると考えるが見解を。

答弁：空スペースの活用、パーティション配備を進め、密にならずに避難者を受け入れるよう取り組む。

保健所の機能拡充

問：人口増に伴う各種健診、違法民泊、受動喫煙への対策など業務が急増、相談窓口、コールセンターなどの執務スペースが必要、この喫緊の課題である保健所の機能拡充、執務環境改善に向けての進捗状況はいかがか。

答弁：来年度当初を目途に、区役所前の千代田会館8階フロアー借用に向けて、交渉中である。

GIGAスクール構想

問：新型コロナウイルスの感染拡大を受け、GIGAスクール構想は進捗を早めた。1人1台とする端末環境の整備、進捗状況と端末を生かした授業の充実と推進についての考えは。

答弁：11月よりタブレットPCを小中学校全校に順次導入、家庭に持ち帰り家庭学習にも活用するが、情報モラル教育の徹底、SNS等の利用制限を設ける。授業については「千代田ICT授業指針・スタート編」を作成し周知を図る。



代表質問 (要旨)

小林やすお

所属委員会

保健福祉委員会

議会運営委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

文化財保存・活用特別委員会



石川雅己区長に問う

